



2026 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 リケンテクノス株式会社

代表者名 代表取締役 社長執行役員 常盤 和明

(コード番号：4220 東証プライム)

問合せ先 経 理 部 長 高見 亮一

(TEL 03-5297-1650)

**2027 年 3 月期 第 2 四半期 (中間期) 業績予想
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ**

本日公表の 2027 年 3 月期 第 1 四半期の実績値及び最近の業績動向を踏まえ、2026 年 4 月 30 日に公表した 2027 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) の連結業績予想及び個別業績予想、2027 年 3 月期通期の連結業績予想及び個別業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) 業績予想の修正 (2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

(1) 連結

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	1 株 当 たり 中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 71,000	百万円 5,700	百万円 5,700	百万円 3,400	円 銭 71.44
今 回 修 正 予 想 (B)	72,500	7,900	7,900	6,100	136.07
増 減 額 (B - A)	1,500	2,200	2,200	2,700	
増 減 率 (%)	2.1	38.6	38.6	79.4	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (2026 年 3 月期第 2 四半期)	65,567	5,533	5,486	3,461	68.63

(2) 個別

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益	1 株 当 たり 中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 33,000	百万円 3,300	百万円 2,600	円 銭 54.63
今 回 修 正 予 想 (B)	35,000	4,800	5,000	111.54
増 減 額 (B - A)	2,000	1,500	2,400	
増 減 率 (%)	6.1	45.5	92.3	

2. 2027年3月期通期業績予想の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

(1) 連結

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	百万円 142,000	百万円 12,000	百万円 12,000	百万円 6,800	円 銭 142.89
今 回 修 正 予 想 （ B ）	145,000	14,500	14,500	9,500	211.92
増 減 額 （ B － A ）	3,000	2,500	2,500	2,700	
増 減 率 （ % ）	2.1	20.8	20.8	39.7	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	131,377	11,408	11,786	7,569	153.72

(2) 個別

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	百万円 66,000	百万円 7,700	百万円 6,000	円 銭 126.08
今 回 修 正 予 想 （ B ）	69,000	10,000	9,000	200.77
増 減 額 （ B － A ）	3,000	2,300	3,000	
増 減 率 （ % ）	4.5	29.9	50.0	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	63,257	8,266	7,041	143.00

3. 業績予想修正の理由

当第1四半期の実績につきましては、中東情勢による顧客需要の増加もあり、国内での売上が増加したことにより、各段階利益は当初予想を上回ることとなりました。

第2四半期以降につきましても、先行き不透明な現下の経済状況は続くものの、引き続き売上増加を見込んでいることに加え、投資有価証券売却益の計上も見込んでおり、当第2四半期（中間期）および通期の業績予想につきましては、各段階利益は前回公表予想を上回る見込みとなりました。

上記業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上